



学校だより



6月号

令和6年5月31日
横浜市善部小学校
校長 朝川健太郎

創立記念日に思う

校長 朝川 健太郎

入学式には満開でピンク色に染まっていた桜の木が、初夏の日差しを受けて、緑色に輝く季節になりました。1年生が種をまいた植木鉢には小さな芽が出始めています。花が咲くのを楽しみにしながら水やりをする姿が見られ、自然を大切にしている心情が少しずつ育っている様子が伺えます。2年生は新江ノ島水族館で水辺の生き物と触れ合い、6年生は国会議事堂を見学し、政治に対する関心を深めていました。6月には4年生5年生の宿泊体験学習もあります。学校では得られない体験を通して、様々なことに対する関心・意欲を高めてほしいと思います。



さて、6月1日は善部小学校の創立記念日です。善部小学校は昭和54年4月1日に開校し、今年度で創立46年目を迎えました。6月2日は横浜の開港記念日なので、本日「創立・開港記念日」として合わせてお祝いをしました。開校が4月1日なのになぜ6月1日が創立記念日なのでしょう。学校沿革史によると、6月1日は校章が制定された日となっています。したがって創立記念日を決める際に校章が制定された日を創立記念日と決めたのではないのでしょうか。校章の由来には「周囲には横浜港を象徴するカモメを表し、周囲三羽のカモメは、学校・家庭・地域を表し、互いに手を取り合い、中央には校名の『善』を配し、校運の隆昌を願って作られた」とあります。創立当時の人々の、学校・家庭・地域が一体となって社会全体で善部小学校の子どもを育てていくんだ、という思いが伝わってきます。そしてその校風は現在に至るまで脈々と受け継がれているということを実感しています。

また、校歌は昭和58年2月20日に制定されました。校歌の歌詞はPTAや地域から公募し、PTA会員だった原泰子さんの歌詞が採用されたということです。「朝日に輝く富士の嶺の雪」や「今日もひた走る新幹線」などの歌詞は、善部小学校ならではの歌詞で、地域の学校だという想いを込めて書いたということを感じさせます。「いつも いつも ここにある」という最後の歌詞からも、学校が地域のシンボルであるということが伺えます。



5月28日(火)には、今年度第1回目となる学校協働運営協議会が開催されました。本校の学校協働運営協議会は、地域の方々、保護者の代表、学識経験者など12名で構成され、学校経営方針の承認や学校評価を行います。今回の協議会では、中期学校経営方針や学力向上、豊かな心の育成、体力向上の3つのプランについて話し合いを行いました。今年度も地域、保護者、学校が一体となって、児童のよりよい成長に向けて学校運営を進めてまいります。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。